

「国連保護下でも安全ではない」

南スーダン

土の壁やフェンスで囲まれた外周3キロと1キロの2カ所の敷地に、白いテントがひしめき合う。南スーダン

の首都ジュバ。国連宿営地に隣接して、戦火を逃れた4万人超が身を寄せる国内避難民保護区がある。

▼11面保護区のルボ南スーダンでは、大統領派と、前副大統領が率いる

反政府勢力が対立。7月にはジュバで戦闘があった。保護区も攻撃にさらされ避難民20人以上が死亡した。

「国連の保護下でも安全ではない。どこに逃げればいいんだ」。マニヤン・ヒ

ヨットさん(26)が憤った。

家族18人で暮らすテントに銃弾が飛び込み、いとこのニヨンさん(24)が即死した。政府と反政府勢力は昨年8月に和平合意を結んでいるが、人々は「とつくに崩壊した。いつ戦闘が再発するか分からない」と口をそろえた。(シユバII渡辺丘)

④ デジタル版に動画